

月刊「ワークホームだより」2月号

発行:2024年 1月 24日 発行者:ワークホーム高砂

〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111

http://workhome-takasago.org/ E-mail workhome@nifty.com



明るく風通しの良いチームと支援の質

ワークホーム高砂施設長 齋藤克己

最近、特に強く思うのは、支援の質を高めるために必要な条件とは何かということ。このことを考える際には、二つの視点が必要だと思う。一つは、個人の力という側面で、知識・技術・経験・感性・人柄・総合的な人格など、職員ひとり一人の特質に関わる側面、そして二つ目には、その人たちの集合体が生み出す側面、つまりはチーム力に関わる側面である。

この二つは、密接に関係していて相互に関係しながら「らせん階段」を横から見ると感じるように、ゆっくりと上昇しているときには「支援の質」が向上していると考えていいのだと思う。しかし、現実にはそう甘くはない。「らせん階段」を上から見ているような感じで、同じところをぐるぐると回っているように見えるし、そんな状態ならまだ良い方で、「らせん階段」をゆっくりと或いは素早く降りていくのを横から見ているような感じにさえ思える時がある。

抽象的な言い方になるが、支援の質を評価・判断するときには、今自分がどのような立ち位置で個人や集団を見ていて、どのような見え方になっているのかをできるだけ客観的に考える習慣をリーダーは持たなければならないと思う。一方向からの視点ではなく多角的に見る視点こそが必要だと言える。そして同時に、集合体の中に自分も含まれていることを意識しておく必要がある。

以上のような視点にたって現在のワークホームを見てみると、一人ひとりの力量にはまだまだ課題が多いように思う。個々人の学習と療育実践の経験をもっともっと積み上げなければならないだろう。しかし、集合体としてのチーム力では、個人の経験や知識不足を互いに補い合える明るく風通しの良いチームが出来つつあると評価している。つまりは、支援の質を高めるための準備が整いつつあるということである。

令和5年度も残すところ2か月となった。「作業員から支援員へ」のテーマは、具現化されているとは言いがたく、次年度に引き継がれていく。しかし、支援の質を高めるための準備が整いつつあることを踏まえれば、個人とチームの今後に期待してもらってもいいのではないかなと思う。関係者の方々には、これからも叱咤激励をいただきながら、職員たちを暖かく見守ってほしいと願っている。



2月の予定

2月14日(水) 工賃支給日

2月25日(日) 保護者会役員会

※工賃支給日(毎月第2水曜日)については、16時30分まで作業を行います。
お迎えの方は17時をお願いします。



駐車場についてのお願い



昨年、7月に県環境部の立入検査があり使用水量についての指摘を受けました。指摘については、真摯に受け止めGOTOさんと協議してコンプライアンス遵守を確認し、現在、使用水量は基準に適合する形で運営を行なっています。ただこれまでお取引のあったお客様を断ることができないため、未処理の洗濯物が駐車場にあふれているという状況です。GOTOさんとしても貸倉庫を契約し削減に向けた取り組みを行なっていますが、当分の間はラックの減少は見込めない状況です。

お迎え等、車でお越しの際は、安全を考慮して1月25日(木)より、ワークホーム北側の第2作業場駐車場を使用することと致します。

ご迷惑をおかけしますがご理解・ご協力よろしくお願いします。

(楠)



第2作業場駐車場
(送迎の方はこちらをご利用ください)



駐車場の現状

今月の担当は重田桃華でした🐱

曾根天満宮へ今年も新年のご挨拶

1月13日（土）に利用者さん全員で曾根天満宮に初詣に行ってきました。天気も良く日差しもあたたかかったので絶好のお散歩日和でした。順番に並んでお参りをし、今年もみんなで記念写真を取りました。

その後は納豆工房に寄り道し、各々好きなお菓子やジュースを買っておられました。予定よりも少し早くワークホームに帰ってきたので、年末にできなかった作業場や食堂の掃除をしました。長い距離を歩いた後の掃除だったので少し疲れたと思いますが、しっかり綺麗になりました。今年も皆さん元気に過ごされますように！（重田）



今年も記念の集合写真を撮りました
マスクがないと明るく見えます！
皆さんいい笑顔です！！

並んで初詣に向かいます！
車や自転車が来ると、「危ないよ～」と
声を掛け合っていました☆



🌸🌸🌸 今月の職員研修 🌸🌸🌸

高砂市虐待防止研修



1月22日に高砂市障害者虐待防止研修に参加しました。虐待は大きく5つ（身体的虐待、心理的虐待、ネグレクト、性的虐待、経済的虐待）に分類されており、事例をもとに他事業所の方とグループワーク等を行いました。その中で虐待はどこでも誰でも起こり得ることで、日頃から意識することが大切だと改めて感じました。虐待防止に取り組むことで利用者さん・職員共に働きやすい環境を作れるようになり、より良い支援に繋がっていくと思いました。（長瀬）



兵庫県強度行動障害支援者基礎研修

1月16日、23日に兵庫県強度行動障害支援者基礎研修を野村と花岡で受講しました。16日は強度行動障害の基礎的なことの講義を受け、23日はグループワークがメインで行動障害の支援について話し合いました。他事業所の取り組みや考え方を聞くことができとても貴重な機会になりました。また、23日の研修では亀山副施設長が講師をされました。来月には実践研修も受講予定なのでしっかり勉強してきたいと思います。（野村）



講師・亀山副施設長



真剣に話を聞く野村支援員

園長にももらったお賽銭を投げ、
“二礼二拍手一礼”を何度も確認しながら
新年のご挨拶やお願い事をされていました！
真剣な表情です！



お買い物出来てご満悦の様子です♪

毎日使う食堂や作業場を
一生懸命掃除しました☆

